

## この二年間で考えたこと

会長 佐藤 直子 (S61年度卒)

私がOB会長として二年間活動してきて感じたことは、若い会員と熟年会員との意識の差です。とりあえず会員に会報と行事等の案内を送る、それだけの活動でしたが、500名という人数の多さに対し、活動する人数が少なすぎました。結局負担が一部の人の肩にかかりました。現役と若い会員との交流を考える余裕もなく、毎日の生活に追われていたのも事実なので、その点は心苦しく思っています。OB会も活動等を見直ししなければならない時期のようです。若い人がやるべきだとの意見が多いですが、そんな事を言ってもらえない状態なのをご理解下さい。お願い申し上げます。

## 岩谷堂高校吹奏楽部OB会に寄せて

岩谷堂高校吹奏楽部 顧問 加藤 忠樹

岩谷堂高校吹奏楽部OB会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、常日頃から我々吹奏楽部のためにご支援をいただき、誠に有難うございます。今年度も4月に新入生を迎え、この7月まで活動を新たにしていまいりました。今年はなんと19人の新メンバーを加え、ついに50人という近年にはない大所帯となりましたが、やはり男子部員に恵まれず、男子生徒ゼロ2年目となっております。また、今年は昨年までお世話になった黒澤悦夫先生に代わって、高橋佳子先生が新しく顧問に着任し、私以外すべて女性という、にぎやかな、大変な毎日を送っております。

今年の定期演奏会は、吹奏楽コンクールの日程を考えて例年よりやや遅めにはなりますが、8月11日(日)に江刺市体育文化会館で行う事となっております。お盆行事が近い多忙な時期となってしまいましたが、OBの皆様には是非足を運んでいただき、ご意見をいただければ幸いに存じます。

ここで、大変残念な報告をしなくてはなりません。それは今年度の吹奏楽コンクールの結果のことです。今年は昨年度の県大会銀賞よりさらに上の成績を目指して生徒と共に努力してまいりました。そして7月7日の一関で行われた県南地区大会に臨んだのですが、審査員に評価されず、残念ながら地区落ちという結果になってしまいました。生徒に、本番では結果に捕われず常に悔いを残さぬよう全力で演奏

することを指導し頑張らせてまいりましたが、やはり大変ショックだったようです。今は気持ちを整理させ、今回の結果を謙虚に受け止めながら、さらに生徒と共に反省し、「3年次にとって最後となる定期演奏会は良い演奏会に」と全力を注がせているところです。OBの皆様にも、力が至らず申し訳ないことをいたしました。この寄稿の機会をお借りして心よりお詫びいたします。今後は生徒のために、生徒の持てる力が発揮できるような良い演奏ができるよう、最後まで持てる力を尽くしたいと思っております。

最後になりますが、現在、これらに向けて生徒共々、蘇生・復活を願い、もがきながらも努力して行こうとしているところです。せっかく部員が増えて盛り上がってきた岩谷堂高校吹奏楽部の灯を絶やさぬよう、今回の挫折をバネに岩谷堂高校吹奏楽部がより向上できるよう頑張りたいと思いますので、OBの皆様にはこの後輩たちを見捨てずに、さらにご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 新会員の紹介

阿部好恵  
穴戸美和  
小野寺瑞穂  
藤枝夏美  
及川智恵

及川桐子  
後藤宏美  
高橋 由  
菊池佳子

## OB 会員今日この頃

後藤幸市 様 (S43年度卒)

この4月、久慈養護へ転勤しました。7月に秋田市に行ったのですが、わずか120kmの距離でした。久慈までは何と180kmあります。岩手県の広さを改めて認識した次第です。

三浦ひろ子 様 (S50年度卒)

みなさんお元気ですか?いつの間にか40の歳になってしまいました。楽器とふれあうことは全くありませんが、現役時代の合宿、コンクール、定演のこと、今でも鮮明に覚えています。機会があったらまた演奏したいです。我が子にリコーダーを教えていると「お母さん上手だね!」とほめられます。「あたり前よ!」と自慢しています。

菊地尚子 様 (S56年度卒)

ギリギリまで粘ってみましたが、残念ながら今年も仕事の都合で参加できそうにありません。定期演奏会、そしてOB演奏のご成功をお祈りいたします。プラスの響きが懐かしい!

菊地和恵 様 (S56年度卒)

4月から娘が中学生となり吹奏楽部に入部しました。親も気合が入り、Claを買い与えた私です。十数年ぶりに(?)Claを吹いたら音が出ない。一人落ち込んでおりました。当日は久々に娘をつれて行きたいと思ってま〜す。